

基本的な質問は、①学生時代に頑張ったこと ②自己PR ③志望理由

自己PRでは「自分の強みがどのように仕事で生きるのかを書き、企業にとって自分を採用するメリットがあることを伝えることが大事」→「学生時代に頑張ったことの「棚卸」をしよう。」

冷静にエントリーシートを仕上げよう！

1. 書く前の準備

- ① 自己の棚卸でPR内容を抽出 ②自己PRを3、400字でまとめる ③企業が求める人材像を把握 ④自己PRをふまえ応募企業でやりたいことを考える

2. 書く時の注意

- ① 設問の意図を意識し、自分の価値観を伝える ②所定の欄の8～9割を埋める ③誤字脱字に注意 ④「就活」「バイト」などの略語を避ける ⑤書く意味のない資格は書かない

3. 提出する前に

自分が伝えたいことが伝わる文章になっているか、第三者に見てもらう。

読者

賞

乗

席

2014年1月28日

(第3種郵便物認可)



# ESは質問意図に沿って

就職活動で選考の第一歩となるエントリーシート(ES)。2015年卒採用のES提出は間もなくピークを迎えます。注意点をまとめてみました。(山田睦子)



## ■求める能力に変化

「ESによる選考を通して」と、面接も受けられないし、内定も得られません。就職支援塾「内定塾」(東京)で今月行われた3年生対象のES対策の講義。講師の齋藤弘透さんの言葉に、学生たちが耳を傾けていました。多くの企業がESで尋ねる

# 「採用のメリット」PR

基本的な質問は①学生時代に頑張ったこと②自己PR③志望理由の三つです。齋藤さんは「頑張ったことについての質問でも、頑張った内容だけを書いて満足してはいけません。どんな思いで取り組んだか必要です。頑張った

は、自己PRについて、「自分の強みがどのように仕事で生きるのかを書き、企業にとって自分を採用するメリットがあることを伝えることが大事」と話しています。

ESの質問内容の傾向は、近年あまり変わりません。ただ、そこから企業が読み取ろうとしている学生の能力は変

わつてきていると、就職支援塾「我究館」の熊谷智宏館長は指摘します。「以前は主に協調性の有無を見ていましたが、グローバル化が進む中、価値観の異なる人々を束ねる力や、周囲を巻き込んで外部に影響を与える力などを見る動きが出てきています」

第三者に見てもらおう。ESを書く際は、準備作業として学生時代に頑張ったこと「棚卸し」をしましょう。エピソードをいくつか用意した上で、その中から企業側の質問意図に沿ったものを選んで書くことが重要です。特によく整理しておきたいのは、仲間と力を合わせて何かを行った経験です。チームで働

## ●冷静にエントリーシートを仕上げよう！(専門家のアドバイスをもとに作成)

- 【書く前の準備は?】
- 学生時代に頑張ったことやPRするエピソードを振り返る
  - ひな型となる「頑張ったこと」「自己PR」を300～400字でまとめる
  - 企業研究をし、その企業が求める人材像を把握
  - 自己PRを踏まえ、応募企業でやりたいことを考える

- 【書く時の注意は?】
- 設問の意図を意識し、エピソードを交えて自分の価値観を伝える
  - 所定の欄の8～9割は埋め、空白をつくらないようにする
  - 誤字脱字がないか、よく確認する
  - 「就活」「バイト」「新勤」などの略語は避ける
  - 書く意味のない資格は書かない

- 【提出する前には?】
- 自分が伝えたいことが伝わる文章になっているか、第三者に見てもらう



エントリーシート対策の講座を受講する学生たち(東京都中央区)

富んだESづくりを心がけてください。